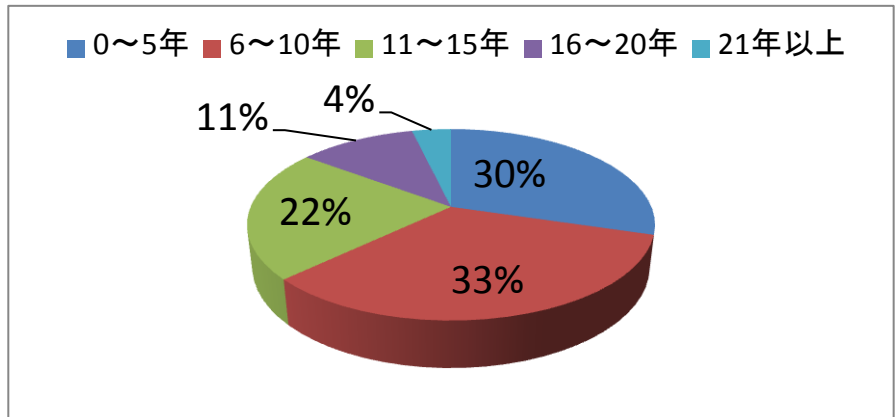


一般社団法人静岡県作業療法士会 平成26年度 第2回
生活行為向上マネジメント推進研修 Bコース アンケート結果

日時:平成27年2月22日(日) 13:30~17:00 会場:富士リハビリテーション専門学校
参加者:28名 アンケート提出者:28名 回収率:100%

1. 経験年数

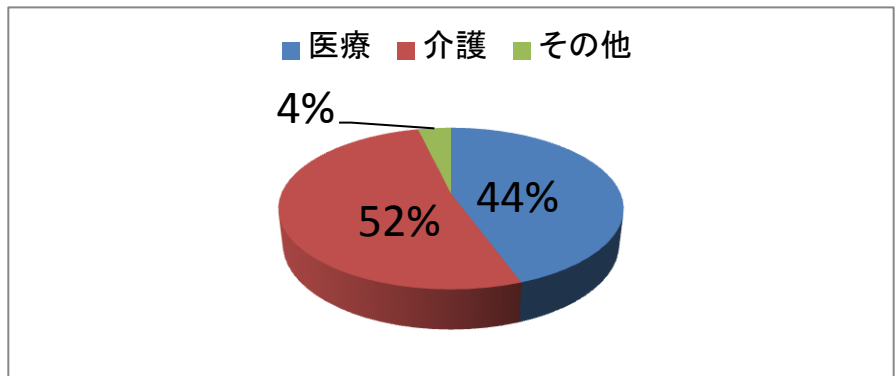
0~5年	8
6~10年	9
11~15年	6
16~20年	3
21年以上	1



2. 保険領域区分

(重複回答あり)

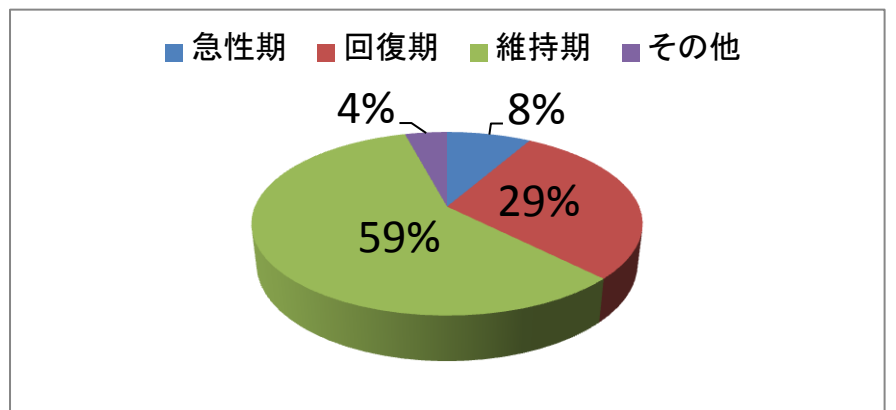
医療	12
介護	14
その他	1



3. 病期区分

(重複回答あり)

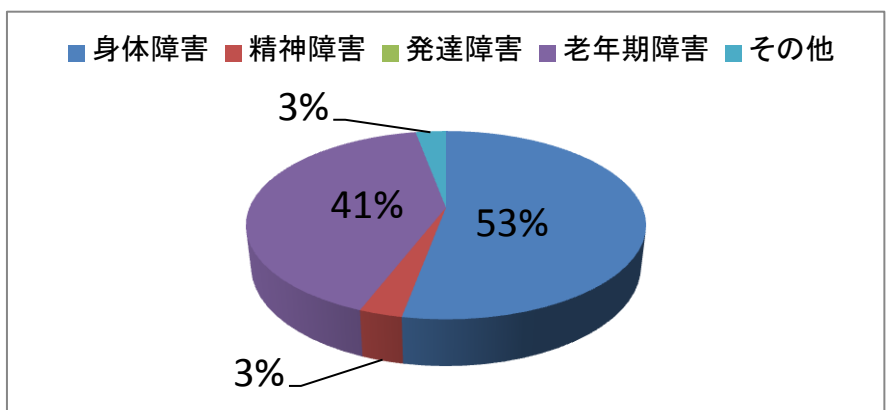
急性期	2
回復期	7
維持期	14
その他	1



4. 分野区分

(重複回答あり)

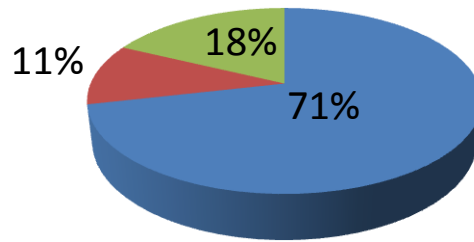
身体障害	18
精神障害	1
発達障害	0
老年期障害	14
その他	1



5. ①退院調整会議または、ケアプラン会議への参加頻度

できるだけ参加	20
ときどき参加	3
不参加	5
該当なし	0

■ できるだけ参加 ■ ときどき参加 ■ 不参加 ■ 該当なし



5. ②その理由

【出来るだけ参加している】20

＜情報交換・共有のため＞7

クライアントの情報をしっかり伝達するため。

多職種からの意見、情報が収集できるから。

リハ職として必要な情報(クライアントの特徴・強み、リハビリ時の注意点など)を直接聞ける、共有できる場だから。

クライアント本人とその家族の目標を共有できる場だから。

家屋環境調査が必要な場合は特に参加している。

他サービス担当者と話ができる機会だから。

ケアマネ、多職種と顔の見える関係を築きたいから。

＜情報交換後に決定したいため＞4

クライアントの目標、方針決定に必要なだから。

クライアントの方向性や目標が決まる会議だから参加している。

クライアントの退院後の生活に大きく関われる場だから。

多職種参加によるケアマネジャーによるケアプラン作成、見直しを行う場だから。

＜参加することが決まりのため＞3

業務のルーチンであるため。

PT、OT、STのうち1人が参加するようにしている。

PT、OTのどちらかの参加がリハビリ科のルールとして義務化されている。

【ときどき参加している】3

会議にOTが必要だというアピールが出来ていないからか呼ばれない事がある。

口頭の申し送りで済む事もあるため、すべての会議に参加しているわけではない。

【参加していない】5

＜不参加＞

会議は病棟主導で行われており、OTは参加しない。

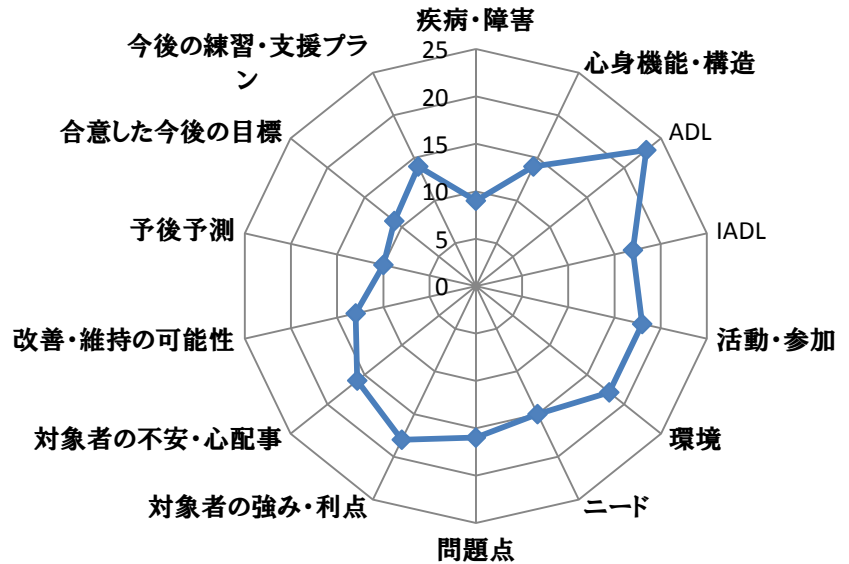
会議自体がない。

機会がない。

5. ③退院調整会議または、ケアプラン会議でOTが説明に心掛けている内容

(重複回答あり)

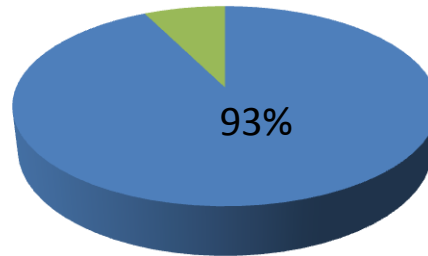
疾病・障害	9
心身機能・構造	14
ADL	23
IADL	17
活動・参加	18
環境	18
ニーズ	15
問題点	16
対象者の強み・利点	18
対象者の不安・心配事	16
改善・維持の可能性	13
予後予測	10
合意した今後の目標	11
今後の練習・支援プラン	14
その他	2



6. ①今後、生活行為向上マネジメントを活用したいと思いますか？

はい	25
いいえ	0
どちらでもない	2

■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない
7%



6. ②その理由

【はい】25

- ・クライアントと共通の目標を立てやすいから。
- ・クライアントが求めている作業・生活行為を円滑に聴取でき、目標を共有しやすそうだから。
- ・クライアントのニーズを叶えるためのアプローチをスムーズに実践できそうだから。
- ・クライアントのニーズを引き出す為、明確にする為にとっても良いツールだと思ったから。
- ・クライアントの意欲を引き出せる介入をしていきたいから。
- ・クライアント自身が「今、何のためにリハビリをしているのか」を考えながらリハビリができ、クライアントの満足感が得やすくなると思ったから。
- ・OTのプランをケアマネや多職種に分かりやすく伝えるため。
- ・多職種に説明するツールとして活用できそう。 ・日々のリハ内容を誰に対しても説明しやすいと思う。
- ・より良いリハビリが提供できるようになると思うから。
- ・実際に使い、目標の共有に役立っているから。引き続き、今後も活用していきたい。
- ・OTの考え方をとても上手く目に見える形にでき、行動から反省まで行いやすいから。
- ・OTとして必要であり、求められている技術だから。
- ・OTの仕事として当然の考え方だから。
- ・OTがどういう仕事をする職種なのかアピールしていくため。
- ・生活行為向上マネジメントは標準的な作業療法の一つになりえると思ったから。
- ・経験年数の少ないOTが生活行為向上マネジメントを使うことでOTの教育になるとも思ったから。
- ・国民全体にもOTの成果・効果を示す必要を感じたから。
- ・通所リハでの算定が可能になるので、他職種への理解を深めるためにも活用していきたい。
- ・介護報酬にも加算化され、結果を残す必要があるから。

【どちらでもない】2

- ・使用できる対象者が限られる。対象者を選んで活用したい。
- ・地域によって社会資源が異なるため、積極的に行っている地域のように自分が上手く使えるか不安がある。
- ・マネジメントシート記入に時間がかかる事で少し抵抗がある。

7. 今回の地区勉強会の感想・ご意見

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・非常に有意義な研修でした。講師の先生、スタッフの皆様、ありがとうございました。
- ・生活行為向上マネジメントについてより詳しく理解することが出来ました。
- ・事例を通じたマネジメント研修は初めて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・事例を通じてクライアントと一緒に目標を設定する事の大切さを改めて学ぶことができました。
- ・事例検討でのグループワーク、勉強になりました。
- ・グループワークの時間がもう少し欲しかったです。
- ・講義は参考になったが、もっとグループワークに時間を割いても良かった。
- ・これからマネジメントをさらに使用できるように心掛けます。ありがとうございました。
- ・まだまだ使用できていないので今後、積極的に活用していきたいと思います。
- ・今後、生活行為向上マネジメントの勉強をもっとしたいと思いました。
- ・グループワークでの査読演習がすごく勉強になりました。熟練者に向けて頑張ります。
- ・生活行為向上マネジメントは現職者共通研修に取り込んだ方が良いと思います。
- ・やっと国が動いてマネジメント加算が認められた今、生活行為向上マネジメントをOTのメインとして使っていきたいと思います。

